

ボツワナ共和国月報(2021年8月)

主な出来事

【内政】

●COVID-19関連政府措置(8月16日から9月6日の間、学校を閉鎖するとともに、夜間外出禁止時間の延長(午後8時から午前4時の間移動を制限))

●大統領府首席補佐官の創設及び任命

【外政】

●米国務次官のボツワナ訪問

●ヒチレマ・新ザンビア大統領の宣誓式へのマシシ大統領の出席

【SADC】

●ザンビア総選挙に対するSADCオーガン議長声明

●第41回SADC首脳会合の開催

【経済】

●コエマカウ銅鉱山の開所式典開催

●7月の年間インフレ微増

●2021年度補正予算の承認

●世銀ローンの国会承認

【内政】

○COVID-19関連政府措置

8月16日から9月6日の間、学校を閉鎖するとともに、夜間外出禁止時間を延長(午後8時から午前4時の間移動を制限)した。○大統領府首席補佐官の創設及び任命

2日、ボツワナ大統領府は、大統領府首席補佐官を創設し、セベレタ氏を同職に任命すると発表した。なお、同職の主な役割は、国家政策の実施状況を監督すること。

【外政】

○米国務次官のボツワナ訪問

マシシ大統領は3日、ヌーランド米国務次官との会談の中で、バイデン米大統領に対し、ボツワナへの新型コロナウイルス・ワクチンの支援を要請し、同支援は、米における余剰ワクチンの販売又は米からの寄付のいずれの形でもよいとした。一方、同国務次官は、米国政府は、SADC政治・防衛・安全保障オーガンにおけるマシシ大統領のリーダーシップの元、SADCがモザンビークにおいて果たしている役割を称賛していると述べた。

○ヒチレマ・新ザンビア大統領の宣誓式へのマシシ大統領の出席

24日、マシシ大統領は、ザンビア・ルサカにて開催されたヒチレマ・新ザンビア大統領の宣誓式に出席し、同大統領に対し祝意を述べた。

【SADC】

○ザンビア総選挙に対するSADCオーガン議長声明

16日、SADC政治・防衛・安全保障オーガン議長であるマシシ・ボツワナ大統領は、12日に行われたザンビア総選挙に関し、散発的な暴力行為があったことは遺憾であるものの、おおむね平和裡に選挙が実施されたことに祝意を表するとともに、大統領に当選したヒチレマ国家開発統一党(UPND)党首を祝福する旨の声明を発表した。

○第41回SADC首脳会合の開催

17日及び18日、SADCは、マラウイにて第41回SADC首脳会合を開催した。同会合は、新SADC事務局長としてマホシ氏(ボツワナ)の任命を承認した。またSADC首脳会合議長にチャクウェラ・マラウイ大統領が、SADC政治・防衛・安全保障機構(オーガン)新議長にラマポーザ南アフリカ大統領が選出される等、SADC首脳会合等の新体制を決定した。

【経済】

○コエマカウ鉱山の開所式典開催

7月30日、マシシ大統領は、コエマカウ鉱山の開所式典に参加した。同式典にて、マシシ大統領は、同鉱山は、寿命が22年と予測され、その間、GDPに対し約1,190億プラ、年間平均10億プラの税収に貢献すると見込まれている旨述べた。

○7月の年間インフレ微増

7月の年間インフレ率は8.9%となり、前月の8.2%から0.7%上昇した。

○2021年度補正予算の承認

2021年度補正予算として、コロナ対策関連経費(保健省)、高等教育授業料助成金(高等教育・研究・科学技術省)、SADCスタンバイフォース・モザンビーク派兵関連経費(司法・国防省)及びSADC事務局への拠出金(財務・経済開発省)として24.9億プラ(270億円)が国会承認された。

○世銀ローンの国会承認

国会は、国際復興開発銀行(世銀 IBRD)からの経済強靱性・グリーンリカバリープログラム開発政策ローンを承認した。本件につき、セラメ財務・経済開発大臣は、今年度の財政赤字の補填、中期的なコロナ禍に伴う歳入減及び歳出増加圧力に対応するため、国内から政府債、国外からは主要な多国間開発銀行からの借入で充てる旨述べ、また、このような措置は、過去の政府貯蓄の取り崩しが不可能であるため、と述べた。